

(前ページからのつづき)

考えると、歳入構造が上向きを示している状態ではない。本年度の市税の不納欠損額は、前年度より大幅に増加し、五億六一〇万八千円となっており、前年度に比べ五八・四％と大きく増加している。

また、収入未済額は前年度より減少し、徴収率も現年度課税分、滞納繰越分ともに上昇したとはいっても、の総額で五八億二、〇一十一万四千円にのぼっている。

このように、徴収率は依然として多摩各市の平均値を下回っていることを勘案し、徴収率向上及び滞納整理に向けた取り組みを強化することが必要である。

よって、今後とも厳しい財政運営が想定されるため、貴重な財源確保になお一層の努力を求めるものである。

歳出については、臨時的経費、任意的経費、投資的経費が金額、構成比ともに伸び、財政構造は前年度に比べ良好な数値を示しているが、これは本年度のみの臨時的な収入によるものである。

本年度の歳出は、前年度に比べ、大幅な増額となっているが、これは公共公益用地の購入、(仮称)市民フォーラム会館建設事業及び原町田六丁目市街地再開発事業等により大きく増加したことによるものである。また、介護保険円滑導入基金、少子化対策基金の新設、さらに、生活保護費などに係る扶助費等の増加によるものである。

本年度の執行率は、一般会計で九五・四％、忠生土地区画整理事業会計は七六・〇％と低く、全体では九五・四％となっている。

一般会計の不用額は、二六億三、六三四万六千円で前年度に比べ二億六、二二五万二千円減少しているとはいっても、今後、多額の不用額が生じないよう、適切な予算執行管理の徹底を求めるものである。

以上のような財政状況下で、不用額の増加を抑えざるを得ないことは当然のことながら、今後は費用対効果及び真に市民にとって必要であるのか等の事業評価をすべきである。

行財政改革を進め、市民の行政需要に応えられるよう、限られた財源を効果的、効率的に執行するため、より緻密な計画に基づいた執行管理を行い、可能な限り行政の簡素化と経費の節減に努め、強固な財政基盤の確立を求めるものである。

次の諸点については、委員会審査の際に指摘したところであるが、今後の予算編成及びその執行にあたり、特に留意されたい。

一般会計

歳入

①各種税金の滞納については、収入未済及び不納欠損とならないよう、徴収に全力を尽くされたい。

②長年実態のない予算科目(学校施設使用料)があるの

で、適切な対処をされたい。③競輪・競艇事業については、収支のバランスを考慮し、売上げの増加等、早急な経営改善を図られたい。

④利用率の低い玉川学園二丁目等の自転車駐車場につ

ては、利用率の向上に向けて、さらに工夫を図られたい。

歳出

☆総括

①予算の流用については、見込みの甘いものも見受けられるので検討されたい。

☆総務費

①緊急地域雇用特別事業費については、新たな雇用を生み出すものに充てられたい。

②(仮称)市民フォーラム会館など公共施設建設の際には、サイン計画を十分検討されたい。

③(仮称)市民フォーラム会館内に置かれた市民活動振興課については、市民活動(NPO等)支援のための事業の充実を図られたい。

④男女平等推進センターについては、委員活動室、多目的実習室の利用率が向上するよう検討されたい。

⑤女性悩みごと相談事業をより一層充実されたい。

⑥非核平和事業については、市民平和派遣事業の再開も含めて検討されたい。

⑦公有地の売買に当たっては、適切な事務処理を行われたい。

⑧「入札妨害」など不正な入札や談合の防止に努力されたい。

⑨市民ホールの備品等については、点検し、改善を図られたい。

⑩市民ホールの自主公演については、入場料収入が極端に低い公演がある。積極的にPRを図られたい。

⑪市民センター等の申し込み方法については、予約システムの立ち上げを早期に図

られたい。

⑫各センターの備品等については、住民の要望にこたえられるよう努力されたい。

⑬各市民センターの選挙前の貸し出し予約については、選挙を優先することを周知させ、市民への貸し出しができるよう検討されたい。

⑭たばこ売上増進対策協議会補助金については、オペイマ21の提言に沿って見直しを検討されたい。

⑮「広報まちだ」のインフォメーション欄については、掲載数が多いため、大変読みづらくなっているため検討されたい。

⑯各種テレホンカードの作成に当たっては、イオカード等も検討されたい。

⑰電算システム開発に当たっては、データ内容等トラブルが発生しないよう委託業者との協議を綿密にされたい。

⑱不在者投票については、森野分庁舎と同様に各市民センターにおいても拡充されたい。

⑲選挙投票所については、民間、準公共施設をできるだけ利用するなど、投票所の増設を図られたい。

⑳選挙立会人には、さらに多くの新成人(二〇歳)を登録されたい。

☆民生費

①安心して老後を過ごせるように、町田市高齢社会総合計画を踏まえて、より一層事業の充実に向けて努力されたい。

②介護支援専門員(ケアマネージャー)に対する研修及び支援体制の充実を図られたい。

③「子育て・子育て支援計画」の実現に向けて、一層の

努力をされたい。

④待機児童解消のために、保育施設の整備を図り、幼稚園との連携についても早急に検討、実施されたい。

⑤学童保育クラブの増設及び老朽化したクラブの建て替えを早急に行われたい。

⑥生活保護課の窓口対応を万全にするよう対処されたい。

☆衛生費

①小児医療など休日・夜間の救急医療体制を拡充されたい。

②航空機騒音対策を充実されたい。

③看護専門学校跡地利用については、市民病院の機能充実のための利用を検討されるよう努められたい。

④リサイクル推進店の拠点回収店舗数の増加に努められたい。

☆農林費

①ふるさと農具館については、入場者の増加を図られたい。

☆土木費

①ペDESTリアンデッキ設置に当たっては、周辺商店会と十分協議されたい。

②生産緑地の追加指定については、農地の保全を図ることを前提に農業振興を積極的に進められたい。

③交差点改良事業(すいすいプラン100)については、鋭意東京都と協議し、速やかに事業遂行を図られたい。

④町田市民バス運行事業については、相原ルート、公共施設巡回ルートとも、利用増進を図るよう努力されたい。

⑤公共施設巡回ルートの運

行については、バスのボディカラーを変えるなどして利用しやすい対策、改善を図られたい。

⑥公園の砂場の管理上、塩素殺菌を年間一〇回実施しているが、作業中には使用できないために、事前の住民周知の方法に配慮されたい。

⑦菊花展賞品については、生産者の栽培努力等を十分に考慮し、栽培意欲が増すような賞品設定を検討されたい。

⑧駅前清掃については、鉄道・バス各社及び商店街の負担・協力も仰がれたい。

⑨ステ看板については、事業者・設置者に対し厳しく指導・処罰されたい。

⑩緑の基本計画・エコプランを今後も有効に活用されたい。

☆教育費

①教育委員会は、いじめや不登校などの実態を把握し、カウンセラー配置などにより、次代を担う青少年の育成に努められたい。

②学校の部活動指導に当たっては、外部指導者を活用し、より一層部活動を充実されたい。

③学校図書購入費については、文部省基準に到達するよう、年次計画に沿った予算確保に努力されたい。

④強化陶磁器食器整備については、全校配置に向けて、速やかに事業を推進されたい。

⑤小・中学校の耐震補強工事の未実施校については、早急に実施されたい。

⑥埋蔵文化財の展示や保管のための施設を拡充されたい。

⑦障害者スポーツ団体の育成と各種大会等が開催される

よう、環境整備を図られたい。

⑧町田市市民体育祭等の委託費については、再検討を図られたい。

⑨市民地区運動会は実態としてレクリエーション、または町内会、自治会相互の親睦の要素が強く、スポーツ課として所管すべき事項であるのか、その事業内容も含め、検討されたい。

⑩町田第一中学校と南中学校の温水プール開放事業については、初心者や水中ウォーキングに対応できるよう施設整備を検討し、利用率の向上を図られたい。

⑪鶴見川クリーンセンタースポーツ広場に関わる事業は、事前に地元要望の内容の確認を十分されたい。

⑫スポーツ施設について、相模原市との相互利用を図られたい。

忠生土地区画整理事業会計

駐車場事業会計

①公共用地処分にあたっては、民間業者を今後も積極的に活用されたい。

②第二駐車場については、構造的欠陥もあり、利用率向上が図られていない。借上料の減額等により、経営の抜本的改善を図られたい。

③駐車場利用券の普及拡大など、地域商店街活性化策と併せた駐車場利用の拡大を図られたい。

④無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑤無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑥無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑦無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑧無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑨無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑩無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑪無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑫無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑬無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑭無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑮無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑯無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑰無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑱無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑲無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

⑳無効水量のうち、漏水水量を把握し、漏水対策に活かされたい。

決算特別委員会の構成

◎中山 勝子 ○中西佳代子

友井 和彦 殿村 健一

小宮晟太郎 長村 敏明

谷沢 和夫 渋谷 敏頼

金森 貢 岩下 正充

八木 邦治

下水道事業会計

①流域下水道並みの補助を引き続き東京都に要望され

「点字」「テープ」の市議会だよりをご利用ください。
申し込み先
議会事務局庶務課
☎ 7 2 4 - 2 1 7 1